



**15** 陸の豊かさも守ろう

**社有林の保全と拡充**

◆ 山林事業

**木材流通・加工**

- ◆ 木材プレカット加工事業
- ◆ ツーバイフォー加工事業
- ◆ 集成材製造事業
- ◆ 木材・建材流通事業
- ◆ 木造建築事業
- ◆ エステックウッド事業

**12** つくる責任 つかう責任

**13** 気候変動に具体的な対策を

**木材資源の普及・流通**

**11** 住み続けられるまちづくりを

- ◆ 不動産開発事業
- ◆ 晴海エリアの街づくり、木材活用



**7** エネルギーをみんなにそしてクリーンに

**発電**

◆ 発電事業 (太陽光、バイオマス)

**9** 産業と技術革新の基盤をつくろう

**バイオマス燃料**

◆ バイオマス燃料事業 (チップ材、バーク等)

**8** 働きがいも経済成長も

**17** パートナーシップで目標を達成しよう

**木材業界発展への貢献**

- ◆ 江間忠・木材振興財団による担い手育成・研究助成
- ◆ 多様な人材が活躍できる企業としての成長

## 江間忠が目指すSDGs

江間忠グループの経営理念では

「木材及びその他の事業を通じて、社会の発展と豊かさの向上に貢献することを目指す」ことを第一に掲げております。この社会的使命を果たせるように、これまで江間忠グループは木材関連事業を中心にしつつ、時代の変化に応じながら、不動産開発や5千ヘクタールを超える社有林を所有する山林事業へと展開して参りました。そして現在も、バイオマス発電事業など木材と関連する新たな挑戦をしております。

昨今、日本の木材業界は、少子高齢化に伴う住宅着工の減少等により長期的に木材需要の低下が見込まれ、生産面・流通面とも大きな変革の渦中にあります。

また、世界に目を転じて、アジアの経済成長に伴う世界的な木材需要の高まりに対し、出材国側では資源保護のための輸出制限が広がっており、木材の需要構造が大きく変化しております。そのような環境の中で、国際連合が主導するSDGsにおいて、森林環境の保全・保護が大きな目標と定められました。国土の70%を森林で覆われる我が国にとっても、森林資源の持続的・循環的活用は大きな課題であります。江間忠グループとしてもこのSDGsの目標実現に向け微力ながらも取り組んで参りたいと考えております。そこで、江間忠グループの目指すSDGsを、

「木材の循環プロセスにおいて緑の豊かさを守り、資源やエネルギーの有効利用、街づくり、将来の担い手育成や多様な人材が活躍できる企業への成長を通じて木材業界の発展に積極的に貢献していく」と定め、新たな経営目標・計画に反映させるなど、積極的に取り組んで参ります。

令和2年7月

代表取締役社長 江間壮一